

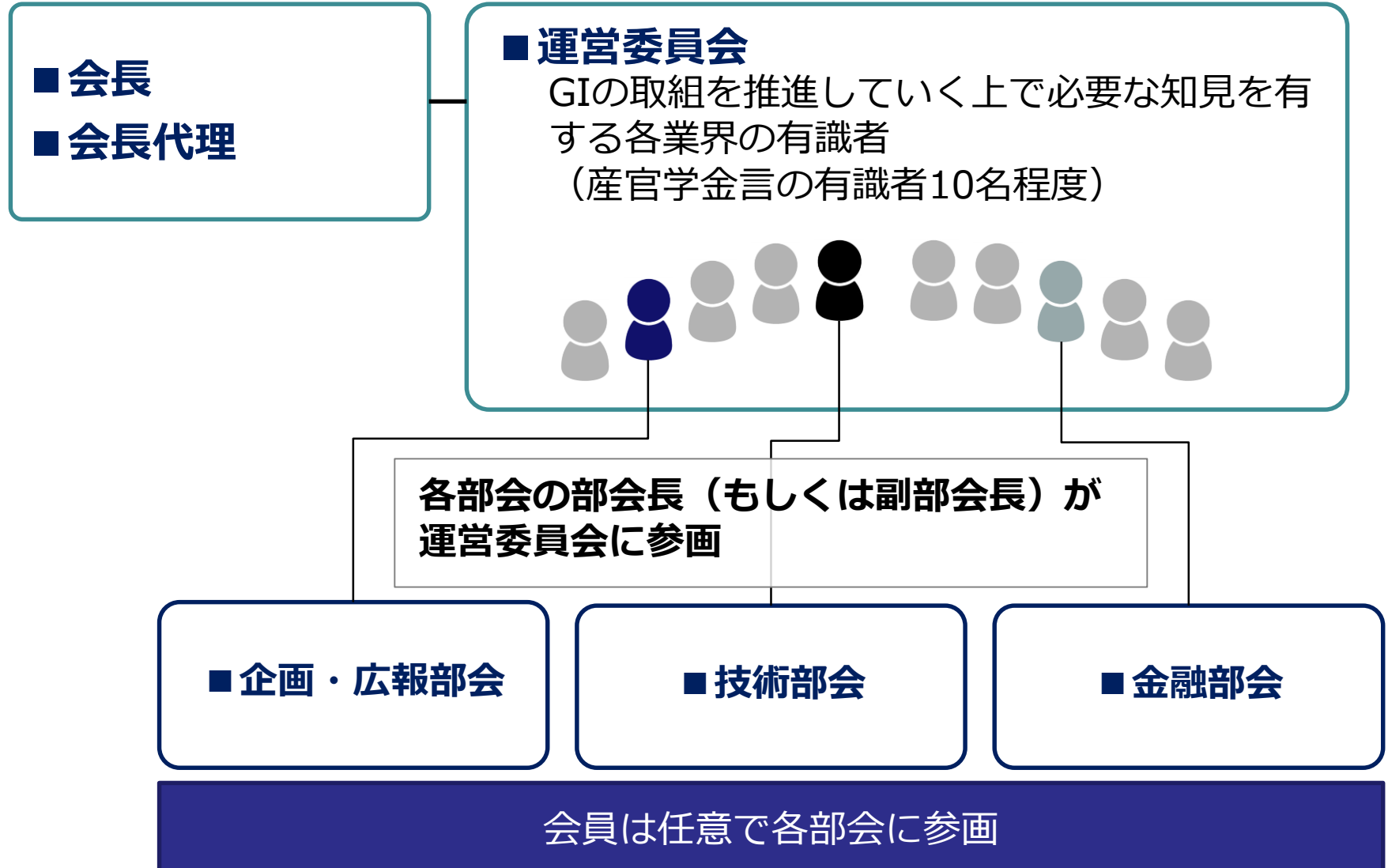
■グリーンインフラ官民連携プラットフォーム(仮称) 設立の目的

- グリーンインフラの社会実装を進めるためには、国、地方公共団体、民間企業、大学、研究機関等、**多様な主体が幅広く参画し、各自の知見、ノウハウや技術を持ち寄り、グリーンインフラの取組を発展させていくことが必要不可欠です。**
- グリーンインフラ官民連携プラットフォーム(仮称)が設立され、多様な主体が参加し、幅広い視点からグリーンインフラについて一緒に考えることで、**取組を進めるヒントや課題解決への道筋が得られるようなオープンな場**となることを期待します。

■グリーンインフラ官民連携プラットフォーム(仮称)のイメージ

- **取組内容のイメージ**
 - ・ **グリーンインフラの普及促進**
(シンポジウム・セミナーの開催、アイデアコンテストの実施等)
 - ・ **グリーンインフラの事業支援**
(ポータルサイトでの情報提供、アドバイザーの派遣等)
 - ・ **グリーンインフラに取り組む主体の連携促進** (総会の開催等)
 - ・ **企画・広報、技術、金融など専門部会の開催**
(課題の共有・整理、解決策の検討、事例の共有、評価手法の検討等)
- **会員のイメージ**
 - ・ **民間企業、地方公共団体、関係府省庁、大学・研究機関、その他団体、個人 等**

■体制のイメージ



グリーンインフラ推進に向けた意見交換の流れ(90分)

① グループディスカッション (50分)

- ・ 10名程度の10グループに分かれて意見交換いたします。
- ・ 各グループの進行役は、事前にご指名させて頂いております。

■ 討議のテーマ

- (a) 取り組んでいる（または取り組みたい）グリーンインフラとそれを実現する際の課題
- (b) プラットフォームに期待すること

② 各グループの結果発表 (20分)

- ・ 5グループずつ、全体を2つに分けて、各グループの進行役に皆様のご意見を概括してご発表いただきます。

③ 総括 (20分)

- ・ ファシリテーターの福岡氏・西田氏、国土交通省環境政策課長の3名での対談形式で行います。